

シンポジウム「在東南アジア日系企業の課題： 積極的なメディアリレーションズと現地企業との戦略的連携」

開催日：2017年3月22日(水) 場所：経団連会館

講師：シェイター・タードプライサン

マッキンゼー&カンパニー バンコク支社長

小田原 浩

〃

東京支社パートナー

クーン・ティー・タン

〃

ジャカルタ支社パートナー

森下 善雄

三菱東京UFJ銀行 国際業務部 部長

ウォルター・シム

ストレーツタイムズ 日本特派員

安藤 俊英

外務省 広報文化外交戦略課長

(モデレーター) ラリー・グリーンウッド バウアーグループアジア(BGA) 上席顧問

近年、東南アジアにおいては、国際競争がますます激しさを増している。このなかで日系企業に対しては、「現地メディアへの対応が消極的」「地元企業との連携に課題を抱える」などの指摘がなされている。そこで、経済広報センターは3月22日、東南アジアにおける日系企業のステークホルダーマネジメントに関するシンポジウムを開催、内外の識者により、日系企業の事業活動の円滑な発展に向けた課題について、活発な議論が展開された。

まず、マッキンゼー&カンパニーのシェイター・タードプライサン バンコク支社長、小田原浩日本支社パートナー、クーン・ティー・タン ジャカルタ支社パートナーによる基調講演が行われた。急速な所得上昇や高齢化などの東南アジアをめぐる動向の説明の後、「日系企業のなかには、現地ジャーナリストとの関係が不十分なことから、何らかの問題が生じた場合、効果的な対応を行えないケースがある」「現地政府、企業のキーマンと適切な関係を構築することは、各種の重要情報の入手の可否やインフラプロジェクトの成否等にも関わってくる。この観点から、戦略的ネットワークを現地で幅広く構築する必要がある」等の発言があった。

その後、ラリー・グリーンウッド バウアーグループアジア上席顧問・元米国A P



E C大使をモデレーターに、三菱東京UFJ銀行の森下善雄国際業務部部長、ストレーツタイムズのウォルター・シム日本特派員、外務省の安藤俊英広報文化外交戦略課長が加わり、「積極的なメディアリレーションズと現地企業との戦略的連携」と題するパネルディスカッションが行われた。

以上